

都路地区チャレンジ教室

クリスマスケーキづくり

都路チャレンジ教室が昨年12月25日に行われ、28人の子どもたちがクリスマスケーキづくりに挑戦しました。講師の話真剣に聞きながら、低学年の子どもたちも自分で作ることができました。本格的な仕上がりに、子どもたちはとても満足そうでした。できあがったケーキは家に持ち帰り、家族みんなでおいしく食べたいと話していました。



西美田交流会 三世代で交流



昨年12月23日、常葉町西向字西美田地区の西美田集会所で、西美田若連会主催、西美田地区の老人会とPTAの共催で、三世代クリスマス交流会が行われ、約60人が参加しました。

午前10時から、消防署と警察署のチラシにより防災の呼びかけや赤い羽根共同募金の説明などを行い、その後、輪投げ大会、ジャンケン大会、ビンゴゲーム大会で交流を図りました。

田村警察署から感謝状 安心・安全に貢献

昨年12月25日、安心・安全に貢献した団体や個人に対し、田村警察署から感謝状が贈られました。市内では、積極的な活動が認められた次の7団体と3人が、感謝状を受賞しました。

- 受賞者…大越AKB48、田村自動車教習所、田村地区警察官友の会、田村地区少年警察ボランティア協会、田村市防犯協会船引支部(写真)、地域安全サポーター「ふれ愛隊ときわ」、地域安全サポーター「都路すずらん隊」、管野正明さん(船引町)、白石高司さん(船引町)、柳沼正一さん(船引町)



百歳賀寿 未永くお元気で

船引町船引の松本正雄さんが、1月5日に満百歳を迎えられました。福島県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿と祝金が贈られました(写真右上)。また、田村市社会福祉協議会から賀寿と祝金が贈られました。正雄さんは、にこやかに賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「早寝早起きして、好き嫌いをなく3食食べること」だそうです。



船引町北鹿又の佐藤忠吾さんが、1月12日に満百歳を迎えられました。贈呈式は、三男の佐藤驥男さんが代理で受領しました(写真右下)。富塚市長から県知事賀寿と記念品の伝達、および市からの賀寿と祝金が贈られました。また、田村市社会福祉協議会、田村市老人クラブ連合会、船引町老人クラブ連合会、鹿又1区長寿会、美山地区、鹿又1行政区からそれぞれ賀寿と祝金が贈られました。忠吾さんの長寿の秘訣は「好き嫌いをなく3食食べること」だそうです。



ハート to ハート 在住外国人と交流

昨年12月20日、田村市国際交流協会主催の在住外国人との交流パーティー「2015 ハート to ハート in 田村」が、船引公民館で盛大に開催されました。

「世界をもっと知ろう!~今年はベトナムから~」をサブテーマに設定したパーティーには約120の方が参加。ベトナム料理やハンドベル、歌、ダンスを楽しみ、交流の輪が広がりました。



まちづくり講演会 まちづくりのヒントを

昨年12月、農業を主体とした取り組みや公民連携を生かしたまちづくりについての講演会を開きました。

12月20日、二本松市東和地域で農業を中心に住民主体の地域活性化を目的に活動する「ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」の武藤一夫氏に大越行政局で講演いただきました(写真右上)。養蚕業が衰退し、人口も半減する状況で、9人の地元農家が、自分たちでやるしかないという「勇気」を持って始めたという経緯や、「有機」をテーマとした産直、特産品づくり、休耕地活用などの取り組みを紹介いただきました。平成17年に発足してから「東和で暮らしたい!」と約20人が移住してきたそうです。田村市と共通点の多い地域であり、多くのヒントをいただきました。



12月21日、公民連携(P P P)により地域の活性化を進めているオガールプロジェクト(岩手県紫波町)代表の岡崎正信氏に、天地人大学で講演いただきました(写真右下)。同プロジェクトは、更地だったJR紫波中央駅前の町有地10.7haに、庁舎や図書館などの公共施設と飲食店や農産物直売所などの民間施設を整備したもので、公共施設も民間事業を活用して建設しているのが特徴です。補助金に頼らず自ら稼ぐ地域づくりの手法をご紹介いただきました。



全国高等学校ラグビー大会福島県大会

全国大会出場選手に激励金交付

第95回全国高等学校ラグビー大会福島県大会で見事に優勝を果たし、全国大会出場を決めた國分峻君(郡山北工3年・船引南中卒)が、昨年12月21日に市役所を訪れ、教育長から激励金が送られました。

全国大会は12月27日に1回戦が行われ、強豪の伏見工(京都)を相手に敗れましたが、國分君が全国の舞台上で健闘する姿は市民を勇気づけました。

